

【令和元年度評価委員会 評価委員からのコメント】

評価項目番号①

- ・ 遺伝カウンセリングできる人材の育成を頑張っていたいただきたい。
- ・ 教育コース・プログラムの全体の養成人数は目標値を上回っているが、コースによっては目標を下回るなど偏りが大きい。引き続き、養成者の募集と環境整備に努めていただきたい。
- ・ 腫瘍内科の専門医のさらなる育成が進むとなお良い。

評価項目番号③

- ・ 自治体との連携は素晴らしい。
- ・ 地域セミナーでは、一部参加人数が少ないものもあった。開催に当たっては対象・日程を十分吟味し、告知を十分に行い、セミナーの成果を十分引き出せるよう、引き続き努めていただきたい。
- ・ がん教育や、キャンサーサバイバーの方々からのご協力・ご意見を得ることにより、がんプロの輪を広げることにもつながると考える。今後も積極的に展開していただきたい。

評価項目番号④

- ・ WEB の活用により地方の方達にも伝えられたのは素晴らしい。WEB 配信へのアクセス数も評価できる。
- ・ 1 回の平均出席者が 6 6 名と若干低調である。住民が検診・受診して初めてがん治療が始まることから、住民啓発に努力していただきたい。その点、新たに開始した YouTube 配信に期待したい。
- ・ 事業は計画通り進められ、実績も効果を出していて良い。ただ一般市民等参加できるものに対しては、広報活動にもう少し力を入れて欲しい。内容が良いのもっと多くの方に参加して欲しい。

評価項目番号⑤

- ・ 更に多くの方たちに見て頂けることを期待している。

評価項目番号⑦

- ・ 総合的には順調に経過している。特に、ゲノム医療など最先端がん診療のレベル向上に大きく寄与している。